**平成30年度　経営発達支援事業 評価･見直し結果報告書**

１．評価機関名　　阿寒町商工会　経営発達支援事業評価委員会

２．開催日時　　　令和元年５月２０日（月）12:30～14:30

３．開催場所　　　阿寒町商工会館　１階会議室

４．出席者

評議委員

　釧路市行政センター　次長　大西　俊二

釧路信用金庫阿寒支店　支店長　畠山　務

阿寒農業協同組合　参事　田中　義幸

北海道商工会連合会釧根支所　支所長　小田桐貴典

専 門 家　中小企業診断士　　加藤　玲

商 工 会　会 長　吉田　守人

経営指導員　小野　晴生 ・ 記帳指導職員　田畑　忠

５．内容

　　定刻となり、事務局が開会を宣し、阿寒町商工会長が開会挨拶を行った後、議事に入る。

**（１）経営発達支援計画及び伴走型小規模事業者支援推進事業について**

　　事務局は、平成29年３月１７日に認定を受けた経営発達支援計画及び認定計画において交付を受けて実施した伴走型小規模事業者支援推進事業の概要説明を行った。

**（２）平成３０年度事業報告について**

事務局は毎年度、認定計画の実施状況を国へ報告すること及び経営発達支援事業の評価・見直しを行う仕組みとして、本委員会によりPDCAを機能させていくことを説明した。

平成３０年度において、経営発達支援事業を推進していく為に実施した伴走型小規模事業者支援推進事業の実施状況は以下のとおり。

**１．地域経済動向の調査に関すること【指針③】**

取組内容：①地域の経済動向調査②公的機関等の経済動向調査資料の招集及び整理③政府系金融機関との情報交換④事業計画策定支援企業への情報の提供企業数

目標・実績・評価結果：別紙経営発達支援事業評価シートのとおり。

**２．経営状況の分析に関すること【指針①】**

取組内容：①指導件数②経営分析件数

目標・実績・評価結果：別紙経営発達支援事業評価シートのとおり。

**３．事業計画策定支援に関すること【指針②】**

取組内容：①事業計画策定支援企業②事業計画の実現性の評価件数③創業セミナー④創業塾⑤経営革新セミナー⑥新規創業件数

目標・実績・評価結果：別紙経営発達支援事業評価シートのとおり。

**４．事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】**

取組内容：①創業・第二創業・事業承継後のフォローアップ②類型化に応じた経営支援（計画策定企業数）

目標・実績・評価結果：別紙経営発達支援事業評価シートのとおり。

**５．需要動向調査に関すること【指針③】**

取組内容：①観光客行動調査②買物動向・売れ筋品調査③外国人消費動向調査

目標・実績・評価結果：別紙経営発達支援事業評価シートのとおり。

**６．新たな需要の開拓に寄与する支援に関すること【指針④】**

取組内容：①道の駅を活用した特産品販路開拓催事販売②商店街への誘客事業（スタンプラリー、クーポン券事業など）③商店街びっくり市等開催④ポップメニューの多言語化⑤外国語研修⑥新商品（土産品）開発勉強会⑦展示商談会、アンテナショップ、物産展への参加店数⑧広域連携での特産市PR販売参加店の数

目標・実績・評価結果：別紙経営発達支援事業評価シートのとおり。

**（３）令和元年度事業計画について**

事務局は別紙資料に基づき、伴走型補助金の活用について平成31年 度の事業を計画している旨の説明を行った。

主な補助事業としては講習会の実施並びに個別事業所に対する専門家派遣事業、新たな需要開拓につながるよう物産展への出展事業を中心として実施する。

地域経済の活性化に資する取組として、移住促進につながる「カメラ事業」の推進を進める。その他事業推進については関係機関との協力体制を強化する。

（特記質問事項なし）

**（４）事業の評価・見直し結果の内容について**

　　外部有識者からの意見等は下記のとおり。

　・まだ自己評価が全体的に低く評価されている、数値目標に対する評価なので目標の数値が達成していれば評価基準に合わせて評価する。内容、効果等は次年度の課題とすることで良い。

・展示商談会への参加は、地域の宣伝、販路開拓につながる取り組みで、各商工会でも力を入れている箇所である。阿寒町商工会でも積極的に事業者へ出展の要請、支援を行ってもらいたい。

・昨年と同様、創業セミナー、創業塾は阿寒町から釧路への参加は現実的に無理だと思う。このままだと毎年Ｄ評価となってしまうので、何か別の事業に置き換えて評価とすることを検討した方が良い。

　地域に不足業種が出店し、売上げを確保できるのか市場調査が必要、阿寒町で創業してやっていけるのかが大きな問題である。

　その他、事務局は意見等を求めたが特に発言はなく、評価委員会を閉会した。時に14時30分